

福祉用具・生活支援用具のアセスメントガイドライン  
参考資料

2 . 本体材料・部品について.....	1
2 . 1 . プラスチック部品.....	1
2 . 2 . 金属材料.....	2
2 . 3 . 有害化学物質.....	2
3 . 消耗材等について.....	5
3 . 1 . 包装材料.....	5
3 . 2 . 消耗品・補助部品.....	5
4 . 構造・設計について.....	6
4 . 1 . 主要部品の交換.....	6
4 . 2 . 洗浄・消毒.....	6
5 . 情報提示について.....	7
5 . 1 . 表示・記載・開示.....	7

## **2 . 本体材料・部品について**

### **2 . 1 . プラスチック部品**

「情報処理機器の環境設計アセスメントガイドライン（第2版）」（2000年9月）  
（<http://it.jeita.or.jp/document/publica/guideline/summary/g-19-2000.html>）

社団法人 日本電子工業振興協会（<http://www.jeita.or.jp>）

「付録 - 1 マテリアルリサイクルに適したプラスチック材の種類」のなかで、以下の材料について、寿命、規制、外観性、成形性、汎用性、組立・解体性、再生性、減容・破砕性を、（良好）（普通）（やや劣る）で評価している。

（プラスチック材の種類）

PP：ポリプロピレン、PS：ポリスチレン、PE：ポリエチレン、PC：ポリカーボネート、ABS：アクリロニトリル・ブタジエン・スチレン共重合体（ABS樹脂）  
AS：アクリロニトリル・スチレン重合体（AS樹脂）

「家電製品 製品アセスメントマニュアル」  
（第3版：1999年3月、概要版：2003年1月、追補版：2004年9月）  
（概要版は <http://www.aeha.or.jp/assessment/> ,  
[http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product\\_Assessment\\_Manual\\_jpn.pdf](http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product_Assessment_Manual_jpn.pdf)）

財団法人 家電製品協会（<http://www.aeha.or.jp/>）

プラスチック部品を含む原材料、部品について、第3版「3 . 解説 3 - 2 再生資源・再生部品の使用」、「3 - 3 長期使用の促進」、「3 - 5 再資源化の可能性の向上」、「3 - 6 分離・分別処理の容易化」で、考え方を解説している。

旭化成ケミカルズ：エンブラサイト - 技術情報TOPページ  
（[http://www.akchem.com/emt/emt\\_tech.html](http://www.akchem.com/emt/emt_tech.html)）

製品・グレードの技術情報（技術資料(ハンドブック)、グレード別特性データ、物性表ダウンロード(Excel ファイル)、グレードのISO表示）、設計・樹脂選定・成形の支援（成形条件標準表、成形トラブル対策表、製品設計基準、樹脂Q & A、プラスチック豆知識）の情報が掲載されている。

このうちテナックハンドブックのなかでは、汎用エンブラについて、軽量性、成形性、

成型収縮性等を（特に優れる）（優れる）（余り良好ではない）×（劣る）で評価している。

（エンブラの種類）

POM（ポリアセタール）、PA（ポリアミド/ナイロン）、PC（ポリカーボネート）、m-PPE（変性ポリフェニレンエーテル）、PBT（ポリブチレンテレフタレート）、GF-PET（ガラス繊維強化ポリエチレンテレフタレート）

## **2.2. 金属材料**

「家電製品 製品アセスメントマニュアル」

（第3版：1999年3月、概要版：2003年1月、追補版：2004年9月）

（概要版は <http://www.aeha.or.jp/assessment/> ,  
[http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product\\_Assessment\\_Manual\\_jpn.pdf](http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product_Assessment_Manual_jpn.pdf)）

財団法人 家電製品協会 (<http://www.aeha.or.jp/>)

「3. 解説」のなかで、「3-1 減量化」、「3-3 長期使用の促進」について、考え方を解説している。

## **2.3. 有害化学物質**

「図解 よくわかるWEEE & RoHS指令」 （日刊工業新聞社、2004年5月）

「図解 よくわかるWEEE & RoHS指令とグリーン調達」

（日刊工業新聞社、2005年3月）

EUが電気・電子機器に対して課した、廃棄物を一般の廃棄物と分別して回収すること（WEEE指令）や、生産から処分にいたる全ての段階で有害物質の使用を制限すること（RoHS指令）について、その概要、特定有害物質の検査法、測定機器と測定事例、企業等の対応事例などを解説している。

独立行政法人 製品評価技術基盤機構 化学物質管理センター

(<http://www.safe.nite.go.jp/index.html>)

個々の化学物質の法規制情報、有害性情報やリスク評価情報等を網羅したデータベース（CHRIP）を構築するとともに、化学物質リスク評価の実施等の事業を進め、化学物質についての知的基盤を構築し情報を提供している。

「情報処理機器の環境設計アセスメントガイドライン（第2版）」（2000年9月）  
（<http://it.jeita.or.jp/document/publica/guideline/summary/g-19-2000.html>）

社団法人 日本電子工業振興協会（<http://www.jeita.or.jp>）

「4. 事前評価項目 4.6 環境保全性の評価」のなかで、評価項目・評価基準、評価方法を示すとともに、環境影響化学物質に関連する法令を例示し、化学物質の安全性指標に関する基本的用語について簡単に解説している。  
また、参考資料として、管理対象の環境影響化学物質を一覧表で整理している。

「家電製品 製品アセスメントマニュアル」  
（第3版：1999年3月、概要版：2003年1月、追補版：2004年9月）  
（概要版は <http://www.aeha.or.jp/assessment/> ,  
[http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product\\_Assessment\\_Manual\\_jpn.pdf](http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product_Assessment_Manual_jpn.pdf)）

財団法人 家電製品協会（<http://www.aeha.or.jp/>）

「3. 解説」のなかで「3-9 安全性・環境保全性」について、考え方を解説している。  
また、参考資料として、環境負荷物質と規制法令の関係をリストアップしている。

「自転車製品アセスメント・マニュアルガイドライン」（2002年3月）  
（[http://www.jbpi.or.jp/\\_data/atatch/2005/03/00000013\\_assessment.pdf](http://www.jbpi.or.jp/_data/atatch/2005/03/00000013_assessment.pdf)）

自転車産業振興協会（<http://www.jbpi.or.jp/>）

「資料編」のなかで、自転車に使用されている有害物質（鉛、カドミウム）、環境負荷が大きい物質等（塩化ビニール、ゴム、発泡スチロール）について、主な使用部品、処理方法の調査結果を踏まえて、対応や課題を考察している。

「グリーン調達調査共通化ガイドライン」（第1版：2002年7月、第2版：2004年6月）  
（<http://home.jeita.or.jp/eps/greendata/JgpssiGuidelines20040603/Guidelines-jp-20040603.pdf>）

「部品・材料含有化学物質調査マニュアル」（2003年7月）  
（[http://210.254.215.73/jeita\\_eps/green/greendata/JgpssiOperation-jp-20030722/Manual-jp-20040419.pdf](http://210.254.215.73/jeita_eps/green/greendata/JgpssiOperation-jp-20030722/Manual-jp-20040419.pdf)）

2001年1月より電気・電子機器メーカーの有志企業が「グリーン調達調査共通化協議会」(JGPSSI: Japan Green Procurement Survey Standardization Initiative)として、部品・材料に含有する化学物質に関するグリーン調達調査に適用する「基本情報調査」「化学物質調査」「調査回答フォーマット」のガイドラインを示している。別表として、調査対象化学物質群と関連する主な法規制等を整理している。

ソニー「部品・材料における環境管理物質 管理規定」  
([http://www.sony.co.jp/SonyInfo/procurementinfo/ss00259/qfhh7c0000006ht8-att/ss\\_00259\\_general\\_use.pdf](http://www.sony.co.jp/SonyInfo/procurementinfo/ss00259/qfhh7c0000006ht8-att/ss_00259_general_use.pdf))

ソニー：資材調達活動ページ  
(<http://www.sony.co.jp/SonyInfo/procurementinfo/ss00259/>)

ソニー製品を構成する部品・デバイス等に含有される環境管理物質について、使用を禁止する物質、全廃をめざす物質および適用除外項目を明確にしている。

ミツミ電機「環境関連化学物質管理規定」(2005年5月)  
([http://www.mitsumi.co.jp/Eco/pdf/ae-01-0001\\_5\\_jpn.pdf](http://www.mitsumi.co.jp/Eco/pdf/ae-01-0001_5_jpn.pdf))

「化学物質詳細リスト」(2003年4月)  
([http://www.mitsumi.co.jp/Eco/pdf/csdlst-v2-0\\_jpn.pdf](http://www.mitsumi.co.jp/Eco/pdf/csdlst-v2-0_jpn.pdf))

ミツミグループ環境保護推進活動ページ(<http://www.mitsumi.co.jp/Eco/>)

ミツミ電機グループは環境関連化学物質に関する社内管理規定を制定し、社内と社外の取引先に対してもホームページにおいて公開している。規定は、目的、適用範囲、運用基準、用語の定義、環境関連化学物質の管理基準、社内及び社外への周知徹底、施行で構成されている。

### **3 . 消耗材等について**

#### **3 . 1 . 包装材料**

「情報処理機器の環境設計アセスメントガイドライン（第2版）」（2000年9月）  
（<http://it.jeita.or.jp/document/publica/guideline/summary/g-19-2000.html>）

社団法人 日本電子工業振興協会（<http://www.jeita.or.jp>）

「4 . 事前評価項目 4 . 7 包装資材の評価」のなかで、評価項目・評価基準、評価方法を示し、簡単に解説している。

「家電製品 製品アセスメントマニュアル」  
（第3版：1999年3月、概要版：2003年1月、追補版：2004年9月）  
（概要版は <http://www.aeha.or.jp/assessment/> ,  
[http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product\\_Assessment\\_Manual\\_jpn.pdf](http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product_Assessment_Manual_jpn.pdf)）

財団法人 家電製品協会（<http://www.aeha.or.jp/>）

「3 . 解説」のなかで「3 - 8 包装」について、考え方を解説している。

#### **3 . 2 . 消耗品・補助部品**

（参考資料なし）

## **4 . 構造・設計について**

### **4 . 1 . 主要部品の交換**

「情報処理機器の環境設計アセスメントガイドライン（第2版）」（2000年9月）  
（<http://it.jeita.or.jp/document/publica/guideline/summary/g-19-2000.html>）  
社団法人 日本電子工業振興協会（<http://www.jeita.or.jp>）

「4 . 事前評価項目 4 . 2 リデュースの評価」のなかで長寿命化の評価について、  
「4 . 3 リユースの評価」のなかでリユースのための解体・分離の容易性について、  
「4 . 4 リサイクルの評価」のなかで解体、分離が容易な構造について、評価項目・  
評価基準、評価方法を示し、簡単に解説している。  
また、「付録 - 3 製品解体の程度」で、解体の目的、解体基準の例を解説している。

「家電製品 製品アセスメントマニュアル」  
（第3版：1999年3月、概要版：2003年1月、追補版：2004年9月）  
（概要版は <http://www.aeha.or.jp/assessment/> ,  
[http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product\\_Assessment\\_Manual\\_jpn.pdf](http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product_Assessment_Manual_jpn.pdf)）  
財団法人 家電製品協会（<http://www.aeha.or.jp/>）

「3 . 解説 3 - 6 分離・分別処理の容易化」のなかで、材料・部品の種類及び点数  
の削減、材料・部品の分離、分別容易性について、考え方を解説している。

### **4 . 2 . 洗浄・消毒**

「産業洗浄」で使用している各種洗浄剤の特徴（2002年3月）  
（<http://www.jicc.org./contents/term1.htm>）  
日本産業洗浄協議会（<http://www.jicc.org/>）

洗浄剤ごとの長所、短所、短所を補うための対策について一覧表に整理している。  
（洗浄剤の種類）

温水・純水、機能水、水系洗浄剤（中性、アルカリ性）、準水系洗浄剤、炭化水素系洗浄  
剤、アルコール系洗浄剤、シリコン系洗浄剤、その他フッ素系洗浄剤（HCFC-141b、  
HCFC-225）、塩素系洗浄剤（塩化メチレン）、塩素系洗浄剤（トリクロロエチレン、テト  
ラクロロエチレン）

「安全な福祉用具貸与のための消毒ハンドブック」（2003年8月、厚有出版）  
社団法人シルバーサービス振興会（<http://www.espa.or.jp/>）

消毒の基礎知識、貸与福祉用具別の消毒方法、消毒薬品一覧表などを整理している。

## **5 . 情報提示について**

### **5 . 1 . 表示・記載・開示**

「情報処理機器の環境設計アセスメントガイドライン（第2版）」（2000年9月）  
（<http://it.jeita.or.jp/document/publica/guideline/summary/g-19-2000.html>）

社団法人 日本電子工業振興協会（<http://www.jeita.or.jp>）

「4 . 事前評価項目 4 . 8 情報提供の評価」のなかで、製品取扱者への情報提供方法、提供する情報の種類・内容、提供情報の理解容易性・徹底方法について、評価項目・評価基準、評価方法を示し、簡単に解説している。  
また、「4 . 4 リサイクルの評価」のなかで分別のための材質表示について解説・例示するとともに、「付録 - 4」で JIS K 6899 に準拠するプラスチック材料記号等を一覧表に整理している。

「家電製品 製品アセスメントマニュアル」  
（第3版：1999年3月、概要版：2003年1月、追補版：2004年9月）  
（概要版は <http://www.aeha.or.jp/assessment/> ,  
[http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product\\_Assessment\\_Manual\\_jpn.pdf](http://www.aeha.or.jp/assessment/admin/doc/Product_Assessment_Manual_jpn.pdf)）

財団法人 家電製品協会（<http://www.aeha.or.jp/>）

「4 . 参考資料」として「4 - 3 プラスチック製部品等の材質表示」「4 - 4 容器包装の識別表示等」「4 - 5 小型二次電池及び小型二次電池使用製品の表示等」のなかで、関連する法令やガイドライン、表示方法や表示記号、表示場所、表示例などを整理している。

「自転車製品アセスメント・マニュアルガイドライン」（2002年3月）  
（[http://www.jbpi.or.jp/\\_data/atatch/2005/03/00000013\\_assessment.pdf](http://www.jbpi.or.jp/_data/atatch/2005/03/00000013_assessment.pdf)）

自転車産業振興協会（<http://www.jbpi.or.jp/>）

「資料編」のなかで、合成樹脂製品等の材質表示の例、小型二次電池のリサイクルマークについて例示、整理している。